

携連で促販ル

旭食品・旭食品・ヤマエ久野など



「RSP」動画メディア活用

伊藤忠食品や旭食品、ヤマエ久野などの有力卸が連携し、全国の小売業へデジタル活用型のリテールサポート(RSP)提案へ乗り出す。店舗への送客・集客機能から店頭でのデジタルサインージ(電子看板)販促による実売獲得、販売情報フィードバックまで一連の仕組みを小売業へ提供し、売上げ拡大を支援する試み。5GやIoTの普及で動画活用型のインスタメディアが注目を集めていることに加え、小売業は新型コロナウイルスの影響などで店頭販促の無人化・非接触型を模索する動きが強まっている。商圏の重複しない卸同士との連携で顧客ニーズをとらえたRSPを提案し、各エリアで店舗の競争力を支援する構えだ。(篠田博一)

店舗の集客・拡売を支援

性化を軸としたRSPの提供を始めた。

RSPの導入小売業は「デリッシュキッチン」の約3万点のレシピの中から、その日に売りたいメニューを選び、関連商品の電子チラシ・特売情報を登録ユーザーへ送信。家庭に届ける折り込みチラシの特売商品にもレシピ動画の2次元コード

「キッチン」を通じて献立の選定や調理法を学べる上、生活圏にある小売業の特売情報をタイムリーに入手できるなど、利便性が高い。このため「近隣の3〜4カ所を買い回る生活者」を自社の店舗につなぎ止める、ロイヤルカスタマー化できる(アプリ)効果が見込め、SMを中心に各小売業へ導入を促している。

19年にアプリと伊藤忠食品が相互の経営資源融合へ資本・業務提携したのを機に、各エリアの有力卸と連携したRSPの展開を加速。先行して顧客提案に努める伊藤忠食品が導入事例やノウハウを各卸と共有する格好で協業を進め、現在、中国四国エリアに強い旭食品、九州エリアのヤマエ久野ほか、東北の丸大堀内、北陸のカナカなどの有力食品卸が得意先へRSPの提案を始めた。

新型コロナウイルスの影響による店内での調理実演の中止や労働力不足への対応、若い世代に支持される店作

景に、小売ル活用による提案力が問

日本食糧新聞

日本食糧新聞社
東京都中央区八丁堀2-14-4
ヤブ原ビル(〒104-0032)
news.nissyoku.co.jp
編集・広告 ☎03(3537)1303
購読 ☎03(3537)1311
【支社局】北海道 ☎011(866)0721/
東北 ☎022(225)2721/新潟 ☎025
(240)8810/長野 ☎026(228)5520/
中部・静岡 ☎052(571)7318/関西
☎06(6314)4181/中国 ☎082(223)
2535/九州 ☎092(291)1790
購読料 半年30,882円
(税別・前金)
©日本食糧新聞社2020年

tgc
5種の穀物と5種の豆
雑穀ブレンド



天狗缶詰株式会社

INDEX

鏡もち特集……
リンゴ加工特集……
プレミックス特集……
25日付臨時増刊「ヤ

全国先駆け開催

ナウイラス感染拡大の影響で家庭内食機会の増加により、3食入り商品や「もみ打ち」「鉄板麺」などのブランド、健康価値を包括したブランド「健美麺」といった家庭用商品が拡大した。半面、主力商品の「流水麺」の縮小や不採算商品の見直しは減少した。利益面は、広告販促費などの経費削減や生産工場での効率化・ロス削減を徹底し、利益の確保に努めた。

下期に向けて、これまで取り組んできた「健康」「簡便」に、コロナ禍を機に顕在化した「高品質」「経済

【長野】マルイチ産商の2021年3月期上期決算（連結）は、売上高が1169億800万円、前年同期比2.9%増、営業利益が8億3600万円、10

マルイチ産商の2021年3月期上期決算（連結）は、売上高が1169億800万円、前年同期比2.9%増、営業利益が8億3600万円、10

大きく上向いた。一般食品事業は、グループの水産品調達力を生かした自社商品の開発、内食化を受けた簡便調理品の売上げなどが伸びた一方、帰省需要の減少が足を引っ張り、売上高は2.6%減の149億2900万円。利益面

ANICAV（イタリア野菜保存食品産業協会）では欧州委員会（EC）の協力の下、100%欧州連合（EU）産のトマト缶をはじめとするトマト保存食品の日本国内での認知度アップへ、昨年からの「RED GOLD FROM EUROPE（レッドゴールドフロムヨーロッパ）」キ

ANICAV

キャンペーンを展開し、多彩なPR活動に取り組んでいる。

欧州の地中海地域はトマト栽培に理想的な自然環境で、加工トマトに最適なコンパクトな形状、丈夫な皮、甘酸っぱい味の品質が産出される。収穫後のトマトは厳しくモニタリング管理された工場

「レッドゴールドフロムヨーロッパ」キャンペーン



日本市場に浸透するEU産のトマト保存食品

EU産トマト保存食品の認知度アップへPR強化

皮むきされ、最終的に優れた栄養分とおいしさがそのまま保存されたEU産トマト缶が日本へ輸出される。皮むきホールト

マトやカット保存食品の3年間の国際ブーム、ロモーション「レッドゴールド」が開始し、EU産のトマト缶に「欧州の赤い芸術」「レッドゴールド」という新たな名称が付けられた。「レッド」は抗酸化作用のあるリコピン由来の真っ赤な色を表現し、「ゴールド」は厳格なゴールドスタンダード基準により、EU産のトマト加工品の金メダル級の品質を表している。

皮むきされ、最終的に優れた栄養分とおいしさがそのまま保存されたEU産トマト缶が日本へ輸出される。皮むきホールト

ANICAVは世界的に有名なサンマルツァーノ（アケロサルネーゼ・ノチェリーノ）DOPトマトを含む、イタリアの6割以上のトマトを加工する計画だ。

の皮むきホールトマトを生産する会員93社で構成されている。

使用済みプラ再資源化

日清オイリオグループ アールプラスジャパンに資本参加

日清オイリオグループは、ケミカルリサイクルの技術を保有する共同出資会社・アールプラスジャパンに資本

参加し、使用済みプラスチックの再資源化に取り組む。アールプラスは、環境負荷低減の技術開発を進める。アールプラスは、環境負荷低減の技術開発を進める。

参加し、使用済みプラスチックの再資源化に取り組む。アールプラスは、環境負荷低減の技術開発を進める。アールプラスは、環境負荷低減の技術開発を進める。